

## IT21 の会 (平成 16 年 5 月) 第 77 回議事録

日 時 : 平成 16 年 5 月 22 日(土) 13 時 00 分 ~ 17 時 00 分

場 所 : 東京都中央区 晴海区民館

出席者 : 19 名

### 議 事

- 1 . 議事および資料確認 上田健之氏
- 2 . IT21 全国展開支援WG 実行案について 小牛田尋志氏

4 月 2 0 日より活動を開始。オフラインで合宿の地方開催や地域技術士活動との連携を企画している。オンライン編集機能を持ったコミュニティサイト (HP) を構築中。これに伴い旧来の地方連絡員制度は廃止。例会にて承認された。
- 3 . 通信サービスエンジニアの 1 1 年 阿部誠氏

宇宙通信株式会社は、宇宙開発事業団と間違えられるが、J-sat を用いた第一種電気通信事業を行う会社である。衛星回線設計およびシステム設計、衛星間電波干渉評価および保護基準策定などを職務としている。その後、ソニー株式会社で通信サービス事業 bit-drive、FWA による電気通信事業に従事していたが、光ファイバー、ADSL などの低コストサービスの台頭に伴い撤退し、現在は法人向けに光ファイバー、ADSL ネットサービス、ハウジングサービスに移行している。その過程で、回線稼働率 (%) を測定し Six Sigma を用いたネットワークサービスの品質改善にも関与した。
- 4 . レガシーシステムの最適化動向 工藤司氏

官庁・自治体分野でもレガシーシステムが課題となっており、様々な方法で最適化が進められている。その 1 つに、要件分析からシステムの見直しを行う方法がある。電子政府構築計画では、この方法による最適化が進められており、最適化手法として EA(Enterprise Architecture) が採用されている。EA ではシステムを業務体系、データ体系、プログラム体系、技術体系の 4 系統の切り口でモデル化し、「全体最適」の観点から業務・システムの双方の改革を推進する。また、理想系モデルを設定し、そこへ至る過程として次期モデルを策定して実際に開発するシステムの要件を決定する。
- 5 . コンピュータとともに 3 0 年 石川明彦氏

現在は会社(NEC)を退職して独立準備中。入社して大型コンピュータの開発事業(回路)に従事したが、メモリはせいぜい 512bit、それをボードに 64 個並べた大きなボードが主役で、膨大な発熱からその熱対策がまず大変だった。

最初の汎用機 ACOS 1 号機は 1974 年 12 月に藤沢市役所に納入され NHK でも紹介されたが、部屋いっぱい広がる大きさで、メモリは 1 - 2 MB 程度しかない。ノート PC で数十 GB という今日から想像できない代物である。設計の品質確保にも変遷があった。バグ S 字曲線はもとより、「バグを出さない」から「どこで出すか予告する」まで。設計品質はなお追及し続ける永遠の課題である。コンピュータの世界はデファクトであるが、通信の世界はデファクトではなくデジュール(規格)である。

余談だが、顧客対応は重要である。リコールにするかを視野に入れるべきで、隠すこと

のダメージのほうが大きい(三菱自動車の事例)。

6. 水道GIS

近藤修平氏

GISとは、Geographic Information System(s)(地理情報システム)の略である。身近な例ではカーナビがあげられる。水道GISは、地図と水道施設の幾何形状や属性情報を持ち、利用用途や縮尺にあわせた情報表示が可能である。水道施設の口径や材質、工事年度などの各種情報が管理され、区域や管種などの属性での検索が可能など、DBとしての機能も持つ。水道業務においては、施設の情報が仕事や組織により分断されるうえに、過去の施設の事情に詳しい「水道の神様」の定年退職により施設情報が失われつつある。水道GISは施設情報を一元管理することでこれらの問題を解決する。水道GISの機能として断水地域の特定や水圧分図の作成、管網解析を利用した計画・設計支援、工事図面ファイリングなどが実演された。

7. 専門監査人制度について

黒澤兵夫氏

8. 初参加者の自己紹介

3名の方から自己紹介がおこなわれた。

9. CPD登録について

黒澤兵夫氏

以上(記載者:吉川博晴 記)